

手順・プロセス獲得！

建設業M社様 情報化

構想立案支援

デジタル変革は、建築・建設業界の課題解決と成長を促進し、生産性向上とコスト削減を実現します。



業界の現状と課題

建築・建設業界は、労働力不足、コスト増大、安全性の要求の高まりなどの課題に直面しています。これらの課題は業務効率や安全性に悪影響を及ぼしています。



デジタル技術の導入事例

AIや自動化技術を活用することで、リスク管理やコスト削減が可能になります。クラウドサービスやモバイル技術の利用で情報共有が迅速化します。



デジタル変革の効果

デジタル技術の導入により、生産性の向上とコスト削減、安全性の向上が実現します。

DX人材不足、情報化構想手順の不明、リーダーシップ不在により建設業M社は、基幹システム構築に向けて具体的な問題に直面していました。



IT人材の不足

専門的なITスキルを持つ人材が不足しており、情報化構想立案の推進が遅れています。この結果、プロジェクトの進行遅延が発生していました。



システム構築の手順不明

具体的なデジタル化の手順や計画が確立されていないため、システム導入検討が断片的で効果的な推進ができていません。



リーダーシップの不在

プロジェクトを推進するリーダーシップを持つ人材が不足しており、意思決定が遅れていました。これにより、計画の実行スピードが低下し、混乱が生じています。

情報化構想立案支援により、M社様のプロジェクト推進に取り組みました。

01

DX推進

多くの情報化構想の立案支援の実績を元にして、M社様の現状から、もっとも適切な情報化構想立案に入りました

実績を上げていた情報化構想のマスタプランの適用と、AIによるプロジェクトモニタリングで、立案の管理精度を上げ、M社様の課題解決に大きく寄与しました。



マスタプラン適用

情報化構想立案で、使われるフォームをM社様向けにカスタマイズ。これにより、検討軸が明確になり、プロジェクトチーム内での共有度が非常に向上し、コミュニケーションロスが減りました。



データ分析

AIを活用したプロジェクトモニタリングによって、偏りを低減。モニタリングポイントを、AIが判定することで、進捗遅れ、進捗課題が明確になりプロジェクトのリスクを予測し、効果的なマネジメントが実現できました。

情報化構想立案の推進がフレーム化したことで、経営陣への説明で非常に明確に合意を得ることが出来ました。


Our Goal 01

プロジェクト生産性向上

AIを活用したプロジェクトモニタリングによって、進捗遅れ、進捗課題が明確になりプロジェクトのリスクを予測し、効果的なマネジメントが実現できました。


Our Goal 02

リスク削減

情報構想の軸が明確になり、システム比較が出来るようになり、システム比較コスト試算がしやすくなりました。時間的リソースの無駄使いが大幅に減少しました。


Our Goal 03

構想立案ノウハウの獲得

DXチームが、弊社と共にプロジェクト推進したことで、プロジェクト構想立案ノウハウを獲得することが出来ました。

持続可能で効率的なシステムの構築と新たなビジネスモデルの創出へ。



持続可能なシステム

「今回の構想をベースに、実際の計画・構築を実施し、持続可能なシステム構築を実施します。プロジェクトノウハウも蓄積でき、本当に助かりました。」DX推進室マネージャー T様



効率的なプロジェクト運営

「構想時に学んだ、プロジェクトマネジメントノウハウで、効率的なプロジェクト運営をする自信とノウハウが付きました。ありがとうございます。」DX推進メンバー E様



新ビジネスモデル

「情報化構想時に、提案頂いた、システム構築後の新ビジネスモデルのアイデアで、経営に図れるタイミングが出来ました」DX推進メンバー M様

ご質問は・・・

こういった問題は、01switchへ是非！

情報化構想立案の方法が分から
ない・・・

提案書のフォームが思いつかな
い

人材がない

チームメンバーコミュニケーションが大変…

info@01switch.jp ^